

2019. 1. 18

1月例会

日時 平成三十一年一月十八日(金)

テーマ イノベーション・生産性向上の本質とは何か

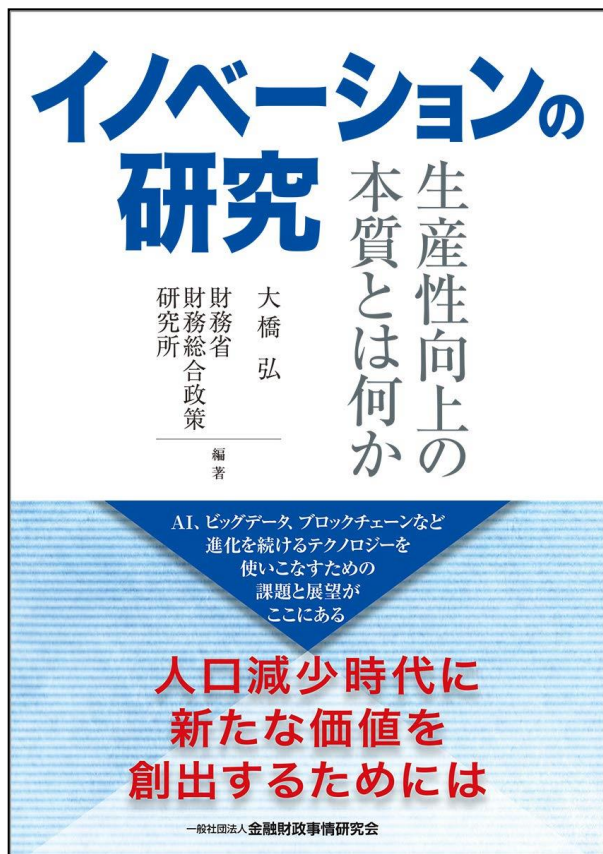
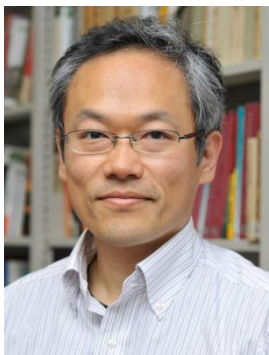
講師 東京大学 公共政策大学院・大学院経済学研究科 教授

大橋弘氏

■ 略 歴

東京大学経済学部卒業。2000年米国ノースウエスタン大学卒業(経済学PhD)。カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学経営商学部助教授、東京大学大学院経済学研究科准教授を経て、2012年より現職。2018年より東京大学公共政策大学院副院長を兼任。専門は、産業組織論・競争政策・経済政策。経済産業研究所プログラムディレクター。競争政策研究センター(公正取引委員会)主任研究官。石川賞(日本経済学会)、円城寺次郎賞(日本経済研究センター)等受賞。

大橋弘氏



イノベーションの研究 - 生産性向上の本質とは何か、きんざい (2018/10/31)



プロダクト・イノベーションの経済分析, 東京大学出版会 (2014/2/19)

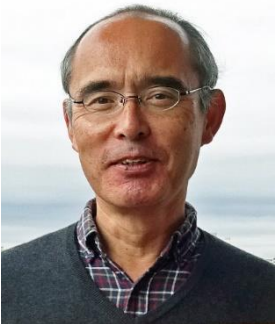
2月例会

日時 平成三十一年二月十三日(水)

テーマ 外国人が見た日本、「誤解」と「再発見」の観光150年史

講師 フリーライター、元実業之日本社ブルーガイドシリーズ編集長

内田宗治氏



内田宗治氏

■ 略 歴

早稲田大学第一文学部心理学専攻(社会心理学)卒業。実業之日本社で経済誌記者、旅行ガイドブックシリーズの編集長(台湾語、韓国語版へもデータ提供)等を務めた後フリーに。

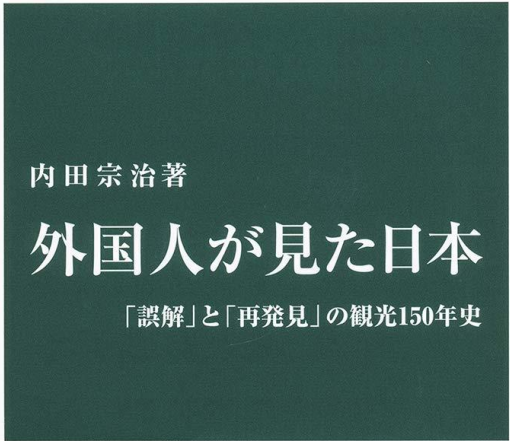
主著に『外国人が見た日本「誤解」と「再発見」の観光150年史』、『カラー版 東京鉄道遺産100選』(以上中公新書)、『関東大震災と鉄道』(新潮社)、『ゼンリン住宅地図と最新ネット地図の秘密』、『地形と地理で解ける! 東京の秘密33 多摩・武蔵野編』『明治大正凸凹地図東京散歩』、(実業之日本社)ほか



内田宗治著


外国人が見た日本

「誤解」と「再発見」の観光150年史



外国人が見たい
ジャパン
日本人が見せたい
ニッポン

東照宮、吉原、原爆ドーム……
日本の魅力はどこにある？



中公新書 2511
定価 本体880円(税別)

外国人が見た日本-「誤解」と「再発見」の観光150年史, 中央公論新社 (2018/10/19)

書評 [上:共同通信 (2018.12.09), 右:日経新聞 (2018.12.08), 左:サンデー毎日(2018.12.30号)]

2019. 3. 20

3月例会

日時 平成三十一年三月二十日(水)

テーマ 経営現象のロジック

講師 早稲田大学商学学術院教授

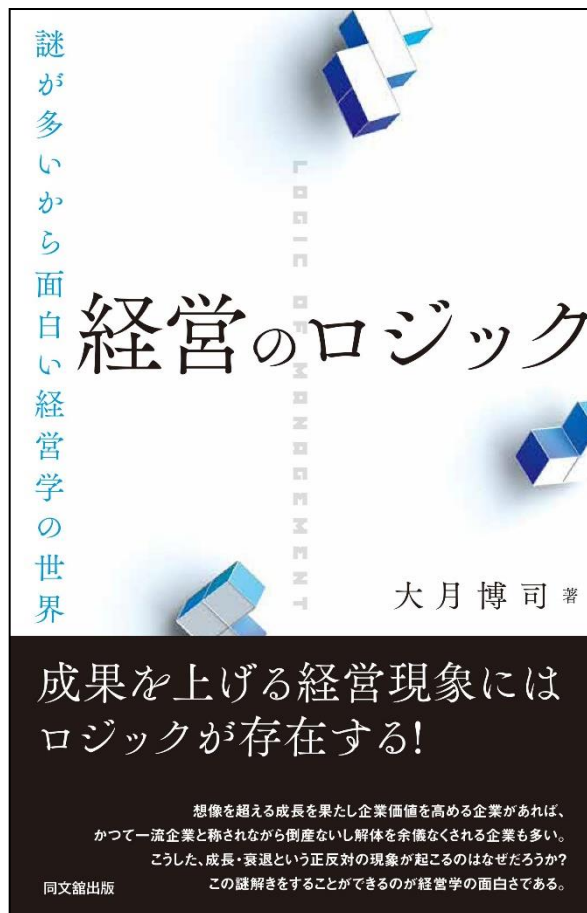
大月博司氏



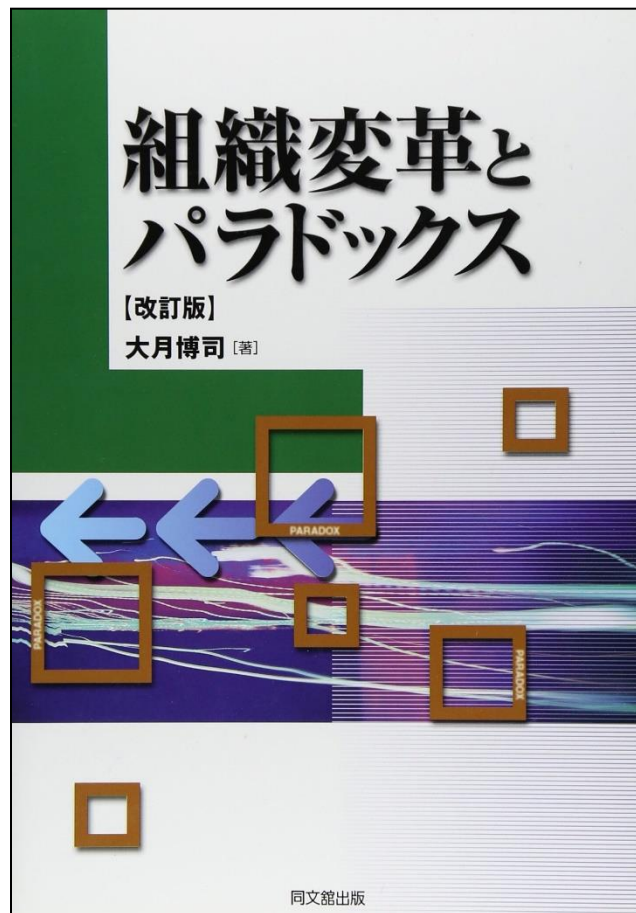
大月博司氏

■ 略 歴

1975年早稲田大学商学部卒業。1982年早稲田大学大学院商学研究科博士課程後期単位取得退学。北海学園大学経済学部専任講師、その後助教授、教授、同大学経営学部教授を経て2004年より現職。その他、ワシントン大学(シアトル)ビジネススクール、デューク大学フクアスクール、カーディフ大学ビジネススクールで客員研究員、大和住銀投信投資顧問取締役などを歴任



経営のロジック,同文館出版 (2018/5/31)



組織変革とパラドックス,同文館出版; 改訂版 (2005/10)

2019. 4. 22

4月例会

日時 平成三十一年四月二十二日(月)

テーマ 戦争と内戦の日本史

講師 国際日本文化研究センター教授

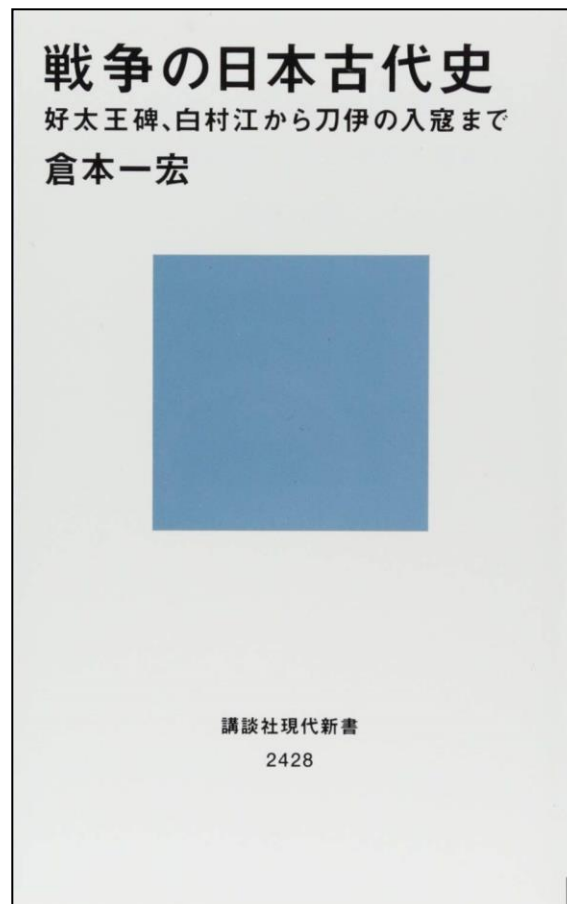
倉本一宏氏



倉本一宏氏

■ 略歴

1983年 東京大学文学部国史学専修課程卒業、1985年に同大学大学院人文科学研究科国史学専門課程修士課程修了、1989年に博士課程単位修得退学。博士(文学、東京大学)。2009年4月より国際日本文化研究センター教授。専門は日本古代政治史、古記録学。



内戦の日本古代史 邪馬台国から武士の誕生まで(講談社現代新書), 講談社 (2018/12/19)

戦争の日本古代史 好太王碑、白村江から刀伊の入寇まで(講談社現代新書), 講談社 (2017/5/17)

2019. 5. 13

5月例会

日時 2019年5月13日(月)

テーマ 物流危機は終わらない

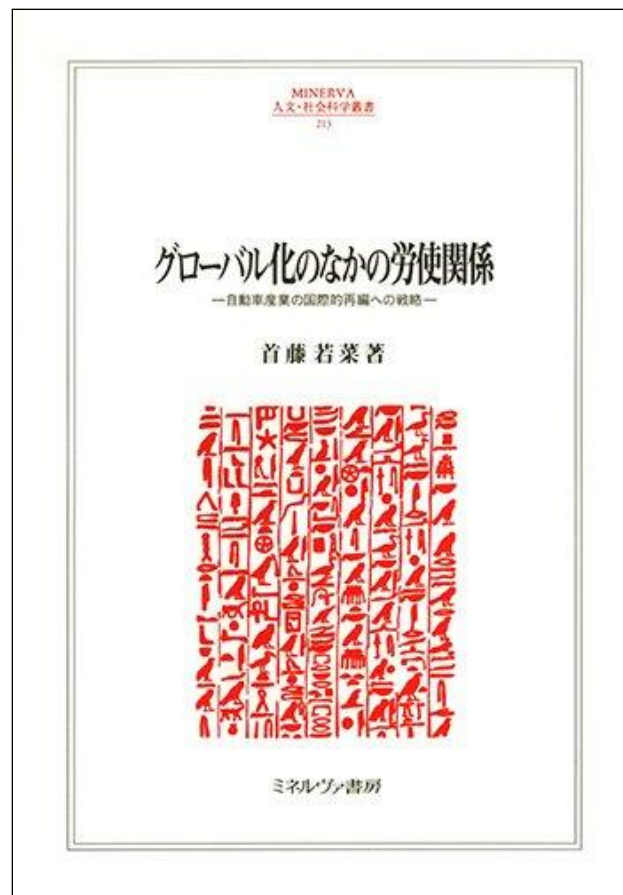
講師 立教大学経済学部教授

首藤若菜氏

■ 略 歴

1996年大妻女子大学社会情報学部卒、2001年日本女子大学大学院人間生活学研究科博士課程単位取得退学。2002年に博士(学術)を取得。山形大学人文学部助教授、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス労使関係学部客員研究員、日本女子大学家政学部准教授などを経て、2018年より現職。専攻は労使関係論、女性労働論。労働関係図書優秀賞、冲永賞、社会政策学会奨励賞等、数々の賞を受賞。

首藤若菜氏



物流危機は終わらない - 暮らしを支える労働のゆくえ (岩波新書), 岩波書店 (2018/12/21)

グローバル化のなかの労使関係:自動車産業の国際的再編への戦略 (MINERVA人文・社会科学叢書), ミネルヴァ書房 (2017/2/25)

2019. 6. 19

6月例会

日時 2019年6月19日(水)

テーマ 低い日本の労働生産性・産業・企業間で格差大きく

講師 学習院大学経済学部准教授

滝澤美帆氏



滝澤美帆氏

■ 略 歴

2002年学習院大学経済学部卒業。2007年一橋大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学。2008年に一橋大学にて博士(経済学)。東洋大学経済学部教授等を経て、2019年4月より現職。2013年ハーバード大学国際問題研究所日米関係プログラム研究員。専門はマクロ経済学・生産性分析等。



経済教室：低い日本の労働生産性(下) 産業・企業間で格差大きく 日本経済新聞 2019年3月6日 朝刊)



グラフィック マクロ経済学, 新世社; 第2版 (2011/6/1)

2019. 7. 19

7月例会

日時 2019年7月19日(金)

テーマ グローバル・タックスの理論と実践

講師 横浜市立大学 国際教養学部 教授

上村雄彦氏



上村雄彦氏

■ 略 歴

大阪大学大学院法学研究科博士前期課程、カールトン大学大学院国際関係研究科修士課程修了。博士(学術、千葉大学)。

カナダ国際教育局カナダ・日本関係担当官、国連食糧農業機関住民参加・環境担当官、千葉大学大学院人文社会科学研究科准教授などを経て、現職



グローバル・タックスの理論と実践 主権国家体制の限界を超えて, 日本評論社 (2019/3/29)



世界の富を再分配する30の方法, 合同出版 (2016/4/4)

2019. 8. 21

8月例会

日時 2019年8月21日(水)

テーマ アマゾン銀行が誕生する日

講師 立教大学 ビジネスデザイン研究科 特任教授

田中道昭氏

■ 略 歴

上智大学卒。シカゴ大学経営大学院MBA。専門は企業戦略&マーケティング戦略及びミッション・マネジメント&リーダーシップ。三菱東京UFJ銀行投資銀行部門調査役、シティバンク資産証券部トランザクター(バイスプレジデント)、バンクオブアメリカ証券会社ストラクチャードファイナンス部長(プリンシパル)、ABNアムロ証券会社オリジネーション本部長(マネージングディレクター)等歴任。(株)マージングポイント代表取締役社長。

田中道昭氏



立教大学ビジネススクール教授 田中道昭

アマゾン銀行が誕生する日

2025年の次世代金融シナリオ

顧客第一主義とスピードを武器に金融業を「複製」するアマゾン
 スマホ決済を土台に「フィンテック新時代」を創造したアリババ、テンセント
 「世界一のデジタルバンク」と称賛されるシンガポールDBS銀行
 逆襲する「ベスト&ブライテスト」、ゴールドマン・サックスとJPモルガン
 日本型金融ディスラプターとメガバンクとの対決の行方
 テクノロジー企業vs既存金融機関の戦いを徹底分析

金融4.0が日本を変える

日経BP社 定価:[本体1800円+税]

グーグル アップル フェイスブック アマゾン バイドウ アリババ テンセント ファーウェイ

GAFABATH

米中 メガテックの競争戦略

田中道昭 立教大学ビジネススクール教授

米中新冷戦時代、
 全産業のルールを
 この8社が塗り替える!

収益の仕組みは？
 経営者の特性は？
 次なる目論見は？
 日本の活路は？

日本経済新聞出版社

アマゾン銀行が誕生する日 2025年の次世代金融シナリオ 日経BP社 (2019/4/18)

GAFABATH 米中メガテックの競争戦略, 日本経済新聞出版社 (2019/4/10)

9月例会

日時 2019年9月11日(水)

テーマ 真の働き方改革・成長の鍵

講師 日本女子大学 人間社会学部 現代社会学科 教授

大沢 真知子 氏

■ 略 歴
コロンビア大学社会科学センター研究員、シカゴ大学ヒューレット・フェロー、ミシガン大学ディアボーン校助教授、亜細亜大学助教授・教授を経て、現職。南イリノイ大学経済学部博士課程修了。Ph. D(経済学)。
専門は労働経済学。政府委員／内閣府『仕事と生活の調和連携推進評価部会』委員。内閣府「仕事と生活の調和連携推進評価部会」委員。東京都女性活躍推進会議専門委員等を併任。著書多数。

大沢 真知子 氏



日本経済新聞 Analysis 26

2019年(令和元年)5月29日(水)朝刊

大沢真知子 日本女子大学教授

人口減少社会の未来図 ④ 真の働き方改革、成長の鍵

ポイント
長時間労働を減らし働き方の選択肢を拡充させ、職場に残る長時間勤務評価の慣行を見直し、300万人超の女性の潜在労働力活用を...

経済教室：人口減少社会の未来図(中) 真の働き方改革、成長の鍵、日本経済新聞 2019年5月29日 朝刊。

なぜ女性管理職は少ないのか

女性の昇進を妨げる要因を考える

女性が管理職になれない／なりたがらない要因は何か――男性中心のリーダーシップ像や女性が抱える心理的な葛藤、職場に根強い差別などを、インタビューや統計から明らかにして、公平な評価制度や新たなリーダーシップ像の確立を訴える。

大沢真知子(編著)
日本女子大学現代女性キャリア研究所(編)

96
育弓社

なぜ女性管理職は少ないのか 女性の昇進を妨げる要因を考える、育弓社 (2019/3/27)

2019. 10. 17

10月例会

日時 2019年10月17日(木)

テーマ 変換期に直面するEU

講師 拓殖大学 政経学部 准教授

細井 優子 氏



細井 優子 氏

■ 略 歴

2005年法政大学大学院社会科学研究所後期博士課程修了。政治学博士。

埼玉大学基盤教育センター准教授を経て、2017年より現職。

EU公認研究機関ジャン・モネEU研究センター(慶應)事務次長・主任研究員を兼務。

専門は国際政治、EU政治。

Analysis

2019年(令和元年)6月11日(火曜日)

ほそい ゆうこ
拓殖大学 政経学部 准教授
博士(政治学)・専門は国際政治、EU政治

細井優子 拓殖大学准教授

欧州議会選後のEU ⑤

課題解決力・存在意義 揺らぐ

1. EU通常立法手続きのイメージ

2. 欧州議会選後の投票率

ポイント

- 市民が直接構成員を選ぶ唯一のEU機関
- 立法過程や欧州委員会任命などに影響力
- 官制の効率性に市民の拒否感一層強く

経済教室: 欧州議会選後のEU(下)課題解決力・存在意義 揺らぐ, 日本経済新聞 2019年6月11日 朝刊.

AFTER ユーロッパ

アフター・ヨーロッパ

ポピュリズムという妖怪にどう向きあうか

EUROPE

イワン・クラステフ Ivan Krastev
庄司克宏……監訳

何が終わり、何が始まるのか？

移民危機がどのように欧州社会を変えたか、
また、なぜ市民は
能力主義的エリートたちに憤っているのか、
本書で扱おうとする二つの問題である。(はじめに)より

岩波書店 定価(本体1900円+税)

細井氏共訳: アフター・ヨーロッパーポピュリズムという妖怪に
どう向きあうか, 岩波書店 (2018/8/4)

2019. 11. 20

11月例会

日時 令和元年十一月二十日(水)

テーマ 日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学

講師 慶應義塾大学総合政策学部教授

小熊英二氏



小熊英二氏

■ 略 歴

1987年 東京大学農学部卒。出版社勤務を経て、1998年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。慶應義塾大学総合政策学部講師、助教授を経て現職。学術博士。

主な著書に『単一民族神話の起源』(サントリー学芸賞)、『<民主>と<愛国>』(大仏次郎論壇賞、毎日出版文化賞、日本社会学会奨励賞)、『1968』(角川財団学芸賞)、『社会を変えるには』(新書大賞)、『生きて帰ってきた男』(小林秀雄賞)、A Genealogy of 'Japanese' Self-Imagesなど。



日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学,講談社 (2019/7/17).



社会を変えるには ,講談社 (2012/8/17)

12月例会

日時 令和元年十二月六日(金)

テーマ デジタルエノノミーの帰結・ヨーロッパ経済における事例

講師 国際応用システム分析研究所主任研究官

リーナイルモラ氏

■ 略 歴

フィンランド アールト大学工学部卒業。ストラテジスト、研究者、経営コンサルタント等の多様な経歴を経て現職。専門は適応システム理論、戦略的計画理論等に基づく戦略的柔軟性と予測システム。

韓国科学技術政策研究所(STEPI)との“Seven Shocks”プログラム開発、フィンランド政府の「Futures Resolution」タスクフォース専門家としても活動。

日本、韓国、シンガポール、オーストリア、ドイツ、チェコ、アメリカ、フィンランドの多様な研究者によるグローバル組織 Global X-Networkの創始者のひとり。

リーナイルモラ氏



<https://globalxnetwork.com/>



International Institute for
Applied Systems Analysis



国際応用システム分析研究所 (IIASA)